津波ハザードマップ
八束地区

四万十市

凡　例

○	市役所、支所
大	指定緊急避難場所
No.	指定緊急避難場所 兼 指定避難所
⬟	福祉避難所
✚	病　院
No.	要配慮者施設
消	消　防
警	警察署・駐在所
Ⓗ	ヘリポート
防	防災行政無線（屋外拡声子局）
雨	雨量観測所
水	水位観測所
消	消防屯所
備	備蓄倉庫
防	防災活動拠点施設
津	津波避難タワー
耐	耐震性貯水槽
拠	防災用マンホールトイレ
――	津波避難経路
――	地区界

津波浸水の深さ

	10.0m以上
	5.0 ～ 10.0m未満
	3.0 ～ 5.0m未満
	1.0 ～ 3.0m未満
	0.3 ～ 1.0m未満
	0.3m未満

※このマップは、色覚障害のある人へ配慮した配色を検討したものになります。

いざというときの連絡先

四万十市役所	0880-34-1111	海上保安庁（海難事故）	118
四万十市役所西土佐総合支所	0880-52-1111	土佐清水海上保安署	0880-82-0464
消　防（火事・救助・救急）	119	警　察（事件・事故の通報）	110
四万十消防署	0880-34-5881	中村警察署	0880-34-0110
四万十市立市民病院	0880-34-2126	西土佐診療所	0880-52-1011

防災行政無線がよく聞こえなかったときに▶0880-34-7800

防災情報の入手方法を確認しましょう

テレビ、ラジオ
- ●高知放送（RKC）　1197kHz　●NHK-FM 高知　84.4MHz
- ●NHK 高知 第１放送　999kHz　●FM 高知　78.5MHz

メール（携帯電話／スマホ等）
緊急速報メール（エリアメール等）　登録不要
四万十市内に所在する人の携帯電話に自動的に情報が配信されます。

防災行政無線・広報車 他
アナウンス（音声放送）サイレン
※防災行政無線がよく聞こえなかったときに「0880-34-7800」で「自動音声」にて確認できます。
Lアラート（災害情報共有システム）
災害時の避難勧告・指示など情報をテレビやラジオ放送、インターネットなどメディアを通して提供されます。

IP 告知端末（整備地域のみ）
地震・台風・豪雨・津波などの災害時緊急放送や行政放送が配信されます

インターネット（パソコン、携帯電話／スマホ）
気象庁ホームページ 全国の情報を確認できます。
http://www.jma.go.jp/jma/index.html
こうち防災情報
http://kouhou.bousai.pref.kochi.lg.jp/
四万十市 公式ホームページ
http://www.city.shimanto.lg.jp/
Yahoo! 防災速報 http://emg.yahoo.co.jp/

QR コードから四万十市の防災情報を入手しましょう！
四万十市 防災情報
Yahoo 防災速報 アプリ
※四万十市とヤフー株式会社は、「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しています。

●津波ハザードマップは、最大クラスの地震の浸水（L2 津波）による最大の浸水の深さと浸水する範囲を示したものです。

四万十市のその他のハザードマップについて
四万十市では、さらに情報を詳しく載せた総合（洪水・土砂・津波ハザードマップ）を作成し、全世帯に配布しています。ぜひ、そちらもご覧ください。

災害に対しては、以下のような日頃からの備えが重要です。
自分ができる備えが何かを考え、行動しましょう。
○非常時持出品の準備
○自主防災組織や市が開催する避難訓練、防災士会が開催する学習会などへ積極的に参加

指定緊急避難場所、指定避難所一覧

四万十市では、緊急速報メールなどを通じて、指定緊急避難場所や指定避難所の開設情報を提供しています。避難する際は、このような情報を入手し、開設される避難場所へ避難しましょう。

地区		場　所	所在地	指定緊急避難場所 建物種別等	災害種別 地震（耐震性）	津波	洪水（計画）	洪水（最大）	土砂災害	避難指定所
八束	38	四万十カントリークラブ	間崎1495-2	ｸﾗﾌﾞﾊｳｽ	×	○	○	○	○	○
	39	八束中学校	実崎1230	校舎	△	×	3階以上	×	○	○
				体育館	△	×	×	×	○	
	40	深木防災コミュニティセンター	深木2409-1		○	○	○	○	○	○
	41	名鹿集会所	名鹿465		○	○	○	○	×	○
	42	山路防災コミュニティセンター	山路2396-4		○	○	○	○	○	○
	43	坂本防災コミュニティセンター	坂本610		○	○	○	×	×	○

表中の解説：「○」使用可能、「×」使用不可、階数を記載している施設は以下を確認しましょう。
- 津波・洪水の欄で階数を記載している施設は、浸水が想定されている区域内にあるため、記載している階以上の場所に避難場所を開設する施設です。
- 土砂災害の欄で階数を記載している施設は、土砂災害警戒区域内または土石流等の危険箇所内にあるため、鉄筋コンクリート造である施設の 2 階以上の場所に避難場所を開設する施設です。
- 洪水の欄で現計画とは計画規模降雨（１００年に１回程度の大雨）を指し、最大とは、想定最大規模降雨（想定される最大規模の降雨）を意味しています。
- △の施設は、耐震性はありますが、津波浸水するため、地震時には、使用できません。また、洪水の「●」の施設は、浸水の可能性が確認されていないため、周辺状況にご注意ください

八束地区主な津波避難施設

山路地区津波避難タワー　初崎地区津波避難タワー




家族とバラバラになったときなどに備え、さまざまな連絡方法を知り、連絡方法を事前に確認しておきましょう

災害用伝言ダイヤル（171）

災害用伝言ダイヤル171は、災害時にＮＴＴより提供される「声の伝言板」です。
使用方法を知っておきましょう。（※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます）

伝言の録音
１７１→１→被災した家の電話番号→伝言を入れる（30秒以内）
ガイダンス（説明）がながれます。
被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は、被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

伝言の再生
１７１→２→被災した家の電話番号→伝言を聞く
ガイダンス（説明）がながれます。
被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は、被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

※携帯電話キャリアが提供するサービスです。自分の携帯で使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう！

災害用伝言板（web171）

自分の安否状況を登録することができ、登録された安否情報はインターネットなどを通じて、家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。
また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

https://www.web171.jp





※携帯電話(キャリアを問わず)でも、災害用伝言板(web171)が利用できます。

①強い揺れを感じたら…

身を守る行動を！

部屋の中では

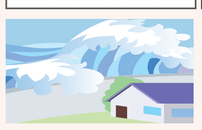


丈夫なテーブルや机の下にかくれる

外では



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。



長い揺れ、強い揺れの後には必ず津波が来る！

津波で浸水する恐れがある場所では

②揺れがおさまったら
高い所へ避難！
津波警報や注意報の発表を待たず、身一つで逃げる！



「逃げろ！」と大声でまわりに知らせながら率先して避難！

③戻らない！
津波は繰り返し襲ってきます！



津波警報が解除されるまで 絶対戻らない！

津波で浸水する恐れがない場所では

②揺れがおさまったら
落ち着いて行動！
○ガスの元栓を閉じる
○停電時に避難するときはブレーカーを落とす
○外に出るときは周囲の状況の安全確認を行う
○ラジオや緊急速報メールなどから災害の情報を入手する
○非常時持出品を準備する



③二次災害へ備える！
命の危険は地震発生直後だけとは限らない！


地震火災


土砂災害

地震火災や土砂災害などの二次災害や余震に備える！

要配慮者施設一覧

No.	名　称	住　所
66	グループホーム なのはな	山路 308 番地 1

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 29 情使、第 1369 号）